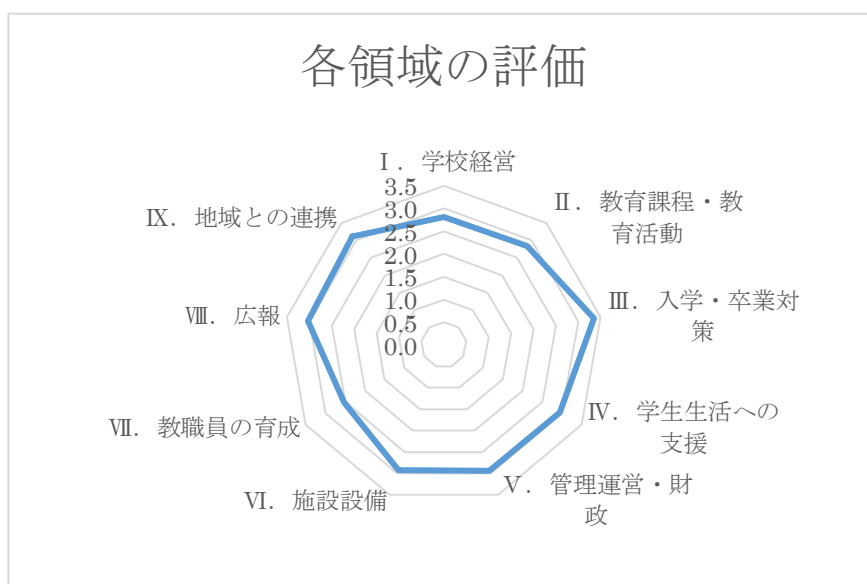


令和4年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、教育活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9領域44項目からなり、「4 良い」「3 適切」「2 やや不十分」「1 不十分」の4段階評価を行っています。

| 領域 | 主な内容 | 項目数 |
|---------------|--|-----|
| I. 学校経営 | 学校の組織運営、組織目標について | 6 |
| II. 教育課程・教育活動 | 教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等 | 15 |
| III. 入学・卒業対策 | 入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援 | 4 |
| IV. 学生生活への支援 | 就職や進学への支援、経済的支援、健康管理 | 5 |
| V. 管理運営・財政 | 個人情報管理、災害への備え等 | 3 |
| VI. 施設設備 | 学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮 | 3 |
| VII. 教職員の育成 | 研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等 | 4 |
| VIII. 広報 | 広報 | 2 |
| IX. 地域との連携 | 地域との連携 | 2 |



令和4年度は看護学科においては改正カリキュラム運用の年、東洋医療学科においても教育活動を見直す重要な年となった。例年高評価となっている「III. 入学・卒業対策」については、令和4年度時点で両学科共に3年連続で合格率100%を達成することができたことが高評価に繋がったと考えられる。年々評価が上昇していることから、本項目が“強み”として教職員の共通認識となっていることがわかる。また、これまで低迷していた「VI. 施設設備」については、数値が上昇している。改善した要因として、施設における経年劣化箇所の修繕、電子黒板をはじめとするICTに対応するための備品整備を行ったことが考えられる。一方、「VIII. 広報活動」については、東洋医療学科への入学生を思うように確保することができなかったことが要因として考えられる。

改善がみられた項目がある一方、昨年度と比べ評価が落ちた項目も目立つ。教職員全体が本校の強み、そして自身の役割を認識し学校運営に努める必要がある。引き続き目的、問題意識を共有し、時代に即した教育を提供できるよう教職員一丸となり、より良い学校運営に取り組めるよう邁進していく。